### 仕様

<table>
<thead>
<tr>
<th>SOLDER SIDE（半田面）</th>
<th>PARTS SIDE（部品面）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>GND 1</td>
<td>2 GND</td>
</tr>
<tr>
<td>GND 3</td>
<td>4 GND</td>
</tr>
<tr>
<td>+5V 5</td>
<td>6 +5V</td>
</tr>
<tr>
<td>+5V 7</td>
<td>8 +5V</td>
</tr>
<tr>
<td>9 10</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>+12V 11</td>
<td>12 +12V</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>コインカウンター2 15</td>
<td>16 コインカウンター1</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>スピーカー（-） 19</td>
<td>20 スピーカー（+）</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ビデオGREEN 23</td>
<td>24 ビデオRED</td>
</tr>
<tr>
<td>ビデオSYNC 25</td>
<td>26 ビデオBLUE</td>
</tr>
<tr>
<td>サービススイッチ 27</td>
<td>28 ビデオGND</td>
</tr>
<tr>
<td>29</td>
<td>テストスイッチ</td>
</tr>
<tr>
<td>コインスイッチ2 31</td>
<td>32 コインスイッチ1</td>
</tr>
<tr>
<td>2Pスタートスイッチ 33</td>
<td>34 1Pスタートスイッチ</td>
</tr>
<tr>
<td>35</td>
<td>36 1P UP</td>
</tr>
<tr>
<td>2P DOWN 37</td>
<td>38 1P DOWN</td>
</tr>
<tr>
<td>2P LEFT 39</td>
<td>40 1P LEFT</td>
</tr>
<tr>
<td>2P RIGHT 41</td>
<td>42 1P RIGHT</td>
</tr>
<tr>
<td>2P PUSH1 43</td>
<td>44 1P PUSH1</td>
</tr>
<tr>
<td>2P PUSH2 45</td>
<td>46 1P PUSH2</td>
</tr>
<tr>
<td>47 48</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>49 50</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>51 52</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>GND 53</td>
<td>54 GND</td>
</tr>
<tr>
<td>GND 55</td>
<td>56 GND</td>
</tr>
</tbody>
</table>

- エッジコネクター
  JAMMA規格
  （JAMMA STANDARD）
- タテ画面（VERTICAL SCREEN）
- コントロールパネル（CONTROL PANEL）
- 8Way Joystick
- PUSE 1
- PUSE 2

**SHOT BOMB**
（ショット）（ボンバー）

- 電源
  +5V 5A
  +12V 1A
  （電源は安定した電力を
  供給できるものをお使い下さい）

### CN1（ステレオ出力用コネクタ）

| 1 | SP +（左） |
| 2 | SP -（左） |
| 3 | SP +（右） |
| 4 | SP -（右） |
テストモード

ゲーム画面時に、テストスイッチを“ON”にするとテストモードになり、テストメニュー画面が表示されます。筐体のテストスイッチを使用して下さい。

1P側の8方向レバーの上下で、項目を選択し、PUSH1ボタンを押しますと、選択したテスト画面が表示されます。

テストモード画面

<table>
<thead>
<tr>
<th>TEST MODE</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>EXIT</td>
</tr>
<tr>
<td>GAME SETTINGS</td>
</tr>
<tr>
<td>INCOME</td>
</tr>
<tr>
<td>I/O TEST</td>
</tr>
<tr>
<td>MONITOR TEST</td>
</tr>
<tr>
<td>ADJUST TIMER</td>
</tr>
<tr>
<td>RESET SETTINGS</td>
</tr>
</tbody>
</table>

ゲームセッティング画面

<table>
<thead>
<tr>
<th>GAME SETTINGS</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1CREDIT(S) / 1CONTINUE</td>
</tr>
<tr>
<td>1CREDIT(S) / SOLO START</td>
</tr>
<tr>
<td>2CREDIT(S) / DUAL START</td>
</tr>
<tr>
<td>SHOOTER 1</td>
</tr>
<tr>
<td>1CREDIT</td>
</tr>
<tr>
<td>SHOOTER 2</td>
</tr>
<tr>
<td>1CREDIT</td>
</tr>
<tr>
<td>3SHIP(S) / 1PLAY</td>
</tr>
<tr>
<td>PLAYER SELECT</td>
</tr>
<tr>
<td>ON CONTINUE</td>
</tr>
<tr>
<td>ON CONTINUE</td>
</tr>
<tr>
<td>ON CONTINUE</td>
</tr>
<tr>
<td>ON CONTINUE</td>
</tr>
</tbody>
</table>

アジャストタイマー画面

リセットセッティング画面

<table>
<thead>
<tr>
<th>RESET SETTING</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>EXIT</td>
</tr>
<tr>
<td>DEFAULT</td>
</tr>
<tr>
<td>GAME SETTING</td>
</tr>
<tr>
<td>CLEAR SCORE RANKING</td>
</tr>
</tbody>
</table>

タイマーアジャスト画面

本PCボードには内蔵の時計が付いております。この時計を正しく合わせておくと一定間のインカムデータを追従することができるです。

8方向レバーで修正する対象を選び、PUSH1ボタン、PUSH2ボタンで修正します。すべてを修正したら、「MEMORY」にカーテルを合わせ、PUSH1ボタンを押すと時計が動き始めます。また、「CANCEL」を選択すると変更せずに終わります。
基板を上の図のように置いて操作して下さい。

Vol.1 モノラル 音量をコントロールします。
        ステレオ 左の音量をコントロールします。
Vol.2 モノラル 使用していません。
        ステレオ 右の音量をコントロールします。
（ステレオ時に音量を最大にするとき音がおかしくなる場合があります。）

JP1 カセット交換時にのみ下図の位置に電源を入れ、画面のメッセージにしたがって、電源を切り元の位置に戻して下さい。（SXX2Dにはありません）

JP2 音声のステレオと、モノラルを切り替えます。

SW1 画面表示を反転させます。

CN1 音声ステレオ出力用コネクター（各ピンは全て独立して接続させて下さい。）

※マザーボードの型番は、JAMMAコネクターを上側にして、部品面の左側に書いてあります。
◆カセットの交換◆

カセットの交換について

本ボードはロムカセットを交換することができます。
ロムカセットを交換するさいには以下の手順で行って下さい。
1. 電源を切って下さい。
2. カセットを外すときには真っ直ぐに抜いて下さい。
3. カセットをさすときは、マザーボードが歪まないように下に雑誌等を当てて、
   カセットの向きに注意して挿入して下さい。（逆向きには入りません）

4. JP1をカセット交換時の位置に変更して下さい。
5. 電源を入れて下さい。電源を入れるとデータ転送を行いますのでしばらくそのまま
   にしてお待ち下さい。（約10分ほどかかります）このときにエラーメッセージが出た
   場合には、電源12Vの接続、電圧等をチェックして下さい。
   （電源には出力が安定しているものをお使い下さい。）
6. データ転送が終了したら電源を切り、JP1を通常の位置に戻して下さい。
   SXX2Dは、そのまま電源を入れ直してください。
7. 電源を入れるとゲームが開始します。
注意事項
1. PCボード、及びカセットの取り付け、取り外しは必ず電源を切ってから行って下さい。
2. 本ボードに張ってあるシリアルナンバーシールを剥がした場合や、無断で改造した場合には、故障に際して保証期間内であっても有償又は対象外となります。
3. エッジコネクターはJAMMA規格適合品、及び、指定品をお使い下さい。PCボードのエッジ部を削るなどの改造は故障の原因となりますので絶対に行わないで下さい。
4. 回路は一部バッテリーパックアップされており、デスターなどで導通検査等をするときショートの原因になりますので絶対におやめ下さい。
5. PCボードを輸送するさいには、スポンジやエアキャップ等で包み、段ボール箱などに入れて強い衝撃を加えないようご注意下さい。
6. サブボードの交換時には、マザーボードが歪まないように下に雑誌等を当て挿入して下さい。
7. 電源は、5V、12V共に出力が安定しているものをお使い下さい。
8. 起動時に音にノイズが入ることがありますが、異常ではありません。
9. ステレオ出力にてある場合に音量を最大にすると、音声がおかしくなる事がありますが故障ではありません。
この場合には音量を少し落とすか、12Vの容量の大きな電源に変えて下さい。（2A程度）

SEIBU KAIHATSU.INC.,
有限会社セイブ開発
〒101 東京都千代田区三崎町2-20-1
2-20-1 Misaki-Cho Chiyoda-Ku, Tokyo 101
TEL.03-3238-9169
FAX.03-3238-9187